

月刊

モンキー！

2016年は申年

動物園版

8

2016

毎月10日発行

カラー版はかみね動物園
ホームページを
チェック！

かみね動物園で暮らす
15種類のサルたちを
毎月紹介



南米大陸
北部～中央部

レッドリスト：LC(軽度懸念)
ワシントン条約：付属書Ⅱ
現在のところ絶滅の危険性は低いとされているが、国際的な取引は厳しく制限されている。

今月のピックアップモンキー

フサオマキザル

英名Tufted Capuchin 学名*Cebus apella* 霊長目オマキザル科
雑食性で主に果実や昆虫を食べるが、木の葉、花、種子、根、小動物なども食べる。群れは10～17頭くらいで、雄雌同数、もしくは雌が多い。

☆ここに注目☆

個性的なヘアスタイル！

全身茶色の毛に覆われ、身体の大きさも小柄なフサオマキザル。「何だか地味なおサルさん...」と思われがちですが、それは大きな間違いです！まずは、フサオマキザルの頭に注目してみてください。

フサオマキザルの特徴と言えば、頭にある立派な『房毛』。実はこれ、フサオマキザルの名前の由来にもなっています。房のあるオマキザル→房オマキザル→フサオマキザル...という感じで名前が付けられました。

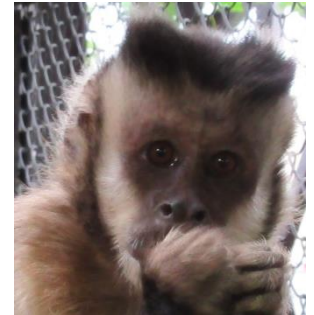
こんなにもインパクトのあるヘアスタイル、中々お目にかかれませんか？

頭の房毛はオス・メスともにありますが、個体によって房の生え方が微妙に異なります。もしフサオマキザルにお目にかかる機会があれば、ぜひ房の違いに注目して観察してみてください♪



メスにも
立派な房毛
があるよ♪

なまえ紹介



フトシ (♂)	ユメ (♀)
1990年8月15日生まれ	1998年5月29日生まれ
川崎市夢見ヶ崎動物公園より来園	
眉間にしわが寄り、少し怖い顔。でも、ユメを思いやる気持ちは誰にも負けないとても優しいオスです。	頭の房がとても立派な女の子。じっと見ているとても豊かな表情でこちらを見ってきます。 ※怒ってるんですけどね...

とっても仲良し夫婦。体をくっつけ合いながら休む姿をよく見かけます。しかし、ごはんの時間は話が別。お互い必死で口の中にエサを詰め込みます。休む時とは違い、とてもせわしない光景です。

道具を難なく使いこなす！？

皆さんはサルたちに対してどんなイメージをもっていますか？何となく、サルは皆賢く、道具を器用に使うなんてイメージをもっている方が多いのではないのでしょうか。しかし、全ての霊長類（サルの仲間）が道具を使うことができるわけではありません。道具を使うためには、私たちが考える以上に高い知性と手先の器用さが必要とされます。

フサオマキザルは霊長類の中でも道具を使うことができるということが分っている種で、棒を使って食べ物を引き寄せたり、石を使って木の実をたたき割ったりすることが確認されています。またコミュニケーション能力も高いことから海外では介助ザルとしても活躍しており、時には南米のチンパンジーと呼ばれることもあります。かみね動物園のフサオマキザルたちも手先の器用さは抜群です！穴をあけたフィーダー（えさ容器）から難なくエサを取り出し食べる姿は、感服の一言です。



～ちょっとお得な情報～

フサオマキザルがごはんを食べる姿がみたい～と思ったそこのあなた！耳寄りな情報です。午後二時前にフサオマキザルのところに行くと、食事風景を目にすることが出来るかも...??!!

※日によって時間が前後する可能性があります

飼育員の一言

いつも眉間にしわをよせこちらをみってくるフサオマキザル。表情だけみると少し怖いイメージをもってしまうがちですが、ぜひ鳴き声に耳を傾けてみて下さい！ワイルドな表情とのギャップに、あなたもイチコロ♪

サルの楽園担当

